



## ボールゲームを通じた地域との連携事業

### ■ 事業概要

国民の50人に1人が競技者として登録し楽しんでいるボールゲーム競技。その9競技12リーグのトップリーグが、その競技の特徴を最大限発揮し、次世代の子どもたちに色々な種目を同時に体験できるプログラムを導入することで、スポーツの素晴らしさを伝えていく活動を2006年より行ってきました。

2015年からスポーツ庁・日本スポーツ協会の後援を頂き、2019年度には約40会場で開催をした「ボールゲームフェスタ」を、2020年度も同様に開催回数を維持あるいはそれ以上の開催回数を目標とし、一人でも多くの子供たちにその魅力を届けたいと考えています。

- 実施期間 2020年4月～2021年3月(年40回開催目安)
- 対象 主に小学生、その保護者
- 主催 一般社団法人日本トップリーグ連携機構、都道府県市区町・教育委員会・スポーツ協会 他
- 後援 スポーツ庁、公益財団法人日本スポーツ協会
- トップスポンサー SOMPOホールディングス株式会社
- スポンサー クリヤマ株式会社、ゼビオグループ

### ■ 事業実施フレーム

本事業を、以下の実施主体のもと年40回を目安として開催。  
尚、実施プログラム、競技種目等は開催自治体の要望を踏まえつつ開催地域の特性を考慮し決定する。

## 「ボールゲームフェスタ」とは

### ボールゲームを通じ、スポーツの楽しさ・魅力を再発見してもらうイベント

主に小学生を対象に、当機構加盟しているリーグに所属する、又所属していたトップアスリートがボールを使う運動の楽しさや技術を指導します。参加者同士の触れ合いを通して、体を動かす楽しさを体験しながら、基本的な技術の習得や技術力をアップさせる機会を提供し、次世代の子どもたちのスポーツライフを支援するイベントです。

事業開始：2006年

**ボールあそび** (対象) 年長～小学校3年生

子どもの発達・発育学の権威である中村教授(現山梨大学教育学部長)と開発したプログラム。親子でボールを使ったメニューを中心とした様々な“運動・あそび”の中で、手足を使い基礎的な運動能力アップを図ります。大きさの違うボールやラグビーボールのように形の違うボールを使い、子どもの調整力を自然と身につけられるようになります。近年、子供の体力・運動能力低下が叫ばれており、「基本的な動きの未習得」がその一因とされています。身体運動の発達に応じた思考/判断能力の発達や、コミュニケーション力の発達に有効な運動プログラムです。また親子のコミュニケーションが少なくなっている現代において、すべてのメニューが親子で実践する内容となるため、親子一緒に楽しみながら活動できます。

また、本プログラムは過去開催地の自治体の方並びに参加者からも高評価を頂いており、2019年度より単独開催も行っております。

**キッズチャレンジ** (対象) 小学校4年生～6年生

当機構に加盟する9競技12リーグに所属、又所属していたトップアスリートによる指導の体験会。サッカー・フットサル・アメフト・ラグビー・ホッケー・アイスホッケー・バレーボール・バスケットボール・ソフトボール・ハンドボールなど1日に4種目をローテーションして楽しく体験！トップアスリートと一緒にプレーしたり、テクニックも学べます。



## ■開催自治体のメリット

本事業は、地域と連携した次世代育成策に留まらず、社会的・経済的意義の高いものとなっています。単種目では他種目とのバランスや調整に頭を痛めることも多いですが、多種目での開催を行うことで、地域貢献、ボールゲームの価値および日本トップリーグ連携機構加盟リーグ所属、出身のアスリートのイメージの融合を、貴団体のスポーツ振興の取り組みに取り入れていただくことで、より良い地域行政の発信が可能となります。

- 1 次世代育成への貢献を、**地域社会にアピール**できる。  
次世代育成観点からの地域住民の評価獲得と、「この街でよかった」との安心感と誇りの醸成に。
- 2 スポーツを応援する行政としての**社会的認知の向上**に。
- 3 ボールゲームフェスタのもつ複合イメージを転嫁し、**より良い行政の発信**が可能。
- 4 学校体育現場の課題である、**より専門的なボールゲーム指導を学ぶ機会**となり得る。
- 5 一競技に偏る日本型スポーツ行動から、**欧米型の多種目に興味を持つ機会**となり得る。

## ■アンバサダー・パートナーの紹介(2019年度実施例)

計7名のうち1名が各会場で当日の参加者として子どもたちとともに体験し、競技を極めた人による多種競技の体験の素晴らしさを直接伝えます。

### SOMPOボールゲームフェスタ アンバサダー



鈴木啓太氏  
サッカー

### SOMPOボールゲームフェスタパートナー



迫田さおり氏  
バレーボール



大西将太郎氏  
ラグビー



廣田遥氏  
卓球



青木愛氏  
アーチェリースティックスイミング



藤井瑞希氏  
バドミントン



塚原直貴氏  
陸上短距離

### 【参加の様子】



2019年2月17日東京都目黒区開催 鈴木 啓太氏



2019年6月15日三重県亀山市開催 迫田 さおり氏



## ■ コアコンテンツの紹介

### ボールあそび

子供の発達・発育学の権威、中村和彦教授（現山梨大学教育学部長）との共同開発プログラムを活用。低学年を対象に、親子で様々なボールを使った“運動・あそび”を実践。大きさの違うボールやラグビーボールのように形の違うボールを使うことで、子どもの調整力を“運動・あそび”の中で自然と身につけられます。子どもの成長過程に合わせ、基本的動作の獲得や五感の発達などを図ります。また親子のコミュニケーションが少なくなっている現代において、すべてのメニューが親子で実践する内容となるため、親子一緒に楽しみながら活動できます。



親子のコミュニケーションの場としてだけでなく、子どもと運動を楽しむことや、子どもの新たな一面を発見する機会にもなっています。



大きさの異なるソフトバレーボールやテニスボール、形の異なるラグビーボールなどを使用して、子どもの調整力や感覚を向上させます。時にはその場でアルミホイルと新聞紙で作ったボールを使用することもあります。また、手だけでなく足を使ってボールを扱うなど、身体のさまざまな箇所を使って“運動・あそび”を行います。



イベント終了後には、講師のサインが入った修了証を講師から一人ひとりに授与いたします。最後には講師全員とハイタッチをしてイベントの思い出を飾ります。



# キッズ・チャレンジ

当機構に加盟している9競技12リーグに所属、もしくは所属していたトップアスリートによる体験会。サッカー・フットサル・アメフト・ラグビー・ホッケー・アイスホッケー・バレーボール・バスケットボール・ソフトボール・ハンドボールの中から、開催地の要望を基に種目を決定。講師には元日本代表選手やオリンピック出場選手、現役の選手たちが務めます。単一種目をする事が多くなる中、一度に複数の種目を体験し、普段と違う動作をすることで子どもの運動能力の向上も図っています。人気が高まっているラグビーを始めとして、普段触れる機会の少ないホッケーの体験など多くの子どもが目を輝かせて楽しんでいます。



屋内・屋外会場で、4種目をローテーションで体験してもらいます。1種目30名～50名(施設の規模によります)を1班とし、トップアスリートと一緒に40分間体験します。



トップアスリートのデモンストレーションを観ることや、一緒に対決することもあります。また普段ではなかなか得られないインドアホッケーやラグビーの経験ができます。一日に4種目体験できるイベントは他にはありません。



本気になったアンバサダーやアスリートと子どもたちが一緒に楽しむ場面も見られます。トップアスリートと対決できたり、一緒に楽しんだりできることは、このボールゲームフェスタの魅力です。

## ■ ボールゲームフェスタの一日の流れ (例)

内容	キッズチャレンジ							
	ボールであそぼう！ メインアリーナ	メインアリーナ①	メインアリーナ②	メインアリーナ③	サブアリーナ			
7:30	7:30 準備スタッフ集合							
8:00	8:00 講師集合							
8:30	8:30～9:00 受付							
9:00	9:00～9:20 開講式							
9:30	ボールであそぼう！ 9:30～11:30							
10:00								
10:30								
11:00								
11:30	11:30～11:45 閉講式	11:30 講師集合						
12:00	休憩・昼食							
12:30								
13:00	13:00 講師退館	12:30～13:00 受付						
13:30		13:00～13:20 開講式						
14:00		競技① (1クラス40分) 1班 13:30～14:10 2班 14:15～14:55 3班 15:05～15:45 4班 15:50～16:30	競技② (1クラス40分) 2班 13:30～14:10 3班 14:15～14:55 4班 15:05～15:45 1班 15:50～16:30	競技③ (1クラス40分) 3班 13:30～14:10 4班 14:15～14:55 1班 15:05～15:45 2班 15:50～16:30	競技④ (1クラス40分) 4班 13:30～14:10 1班 14:15～14:55 2班 15:05～15:45 3班 15:50～16:30			
14:30								
15:00								
15:30								
16:00								
16:30		16:30～16:45 閉講式						
17:00								
17:30		17:20 講師退館						
18:00		18:00 完全撤収						

時間

8:30 ～



会場への入口はアーチを通過して入館  
受付をし、Tシャツを着たら、名前シールを自分で記入しTシャツに貼付

9:00 ～



装飾された会場内で開講式がスタート  
開講式内では主催挨拶・来賓挨拶・講師紹介を行います



9:30 ~



午前中のボールであそぼう！がスタート  
2時間親子でボールを使ったメニューを中心とした“運動・あそび”の実践を行います

11:30 ~



ボールであそぼう！プログラム終了 最後はハイタッチで講師が見送ります

13:00 ~



午後のキッズチャレンジ開講式  
主催挨拶・来賓挨拶・講師紹介を行い、キッズチャレンジスタート

13:30 ~



4種目をローテーションで体験  
アンバサダーやスペシャルゲストは、各班の体験に子供たちと一緒に参加

16:30 ~



キッズチャレンジプログラム終了 講師全員でハイタッチの見送りも

## ■開催事例①

# SOMPO BALL GAME FESTA 2019 in 南九州

- ◆日時 : 2019年6月2日(日)
- ◆会場 : 鹿児島県南九州市 知覧体育館・知覧武道館
- ◆種目 : バレーボール、ソフトボール、サッカー、ハンドボール
- ◆内容 : ボールであそぼう! 小学1~3年生 54組108名  
キッズチャレンジ 小学4~6年生 155名
- ◆講師 : ボールゲームフェスタパートナー 迫田 さおり(バレーボール元日本代表)  
ボールであそぼう! 篠原 俊明(東京未来大学 准教授)  
前田 誠一(ハンドボール元日本代表)  
キッズチャレンジ

### ★バレーボール★

佐田 樹里(元日本代表)  
横田 一義(元日本代表)

### ★サッカー★

山田 裕也(鹿児島ユナイテッドFC)  
モク ソンジョン(鹿児島ユナイテッドFC)

### ★ソフトボール★

濱本 静代(元日本代表)  
西野 絵美(元日本代表)

### ★ハンドボール★

前田 誠一(元日本代表)  
高栖 由香(ソニーセミコンダクタ)

## ■開催事例②

# SOMPO BALL GAME FESTA 2019 in 日進

- ◆日時 : 2019年8月3日(土)
- ◆会場 : 日進市スポーツセンター
- ◆種目 : ラグビー、バスケットボール、サッカー、ソフトボール
- ◆内容 : ボールであそぼう! 小学1~3年生 56組112名  
キッズチャレンジ 小学4~6年生 81名
- ◆講師 : ボールゲームフェスタパートナー 廣田 遥(トランポリン元日本代表)  
ボールであそぼう! 岩屋 睦子(バスケットボール元日本代表)  
鈴木 由香(ソフトボール元日本代表)  
キッズチャレンジ

### ★バスケットボール★

岩屋 睦子(元日本代表)  
池田 麻美(元日本代表)

### ★ソフトボール★

永沢 杏奈(元大垣ミナモソフトボールクラブ)  
新井 賢紗(元大垣ミナモソフトボールクラブ)

### ★ラグビー★

岡村 要(ラグビートップリーグアンバサダー)  
櫻谷 勉(元NECグリーンロケッツ)

### ★サッカー★

檜崎 正剛  
煙山 徹(名古屋グランパススクールコーチ)  
大長 亮(名古屋グランパススクールコーチ)